

## 広島市子どもの読書活動推進計画（第二次計画）の推進状況（平成25年度）

### 計画の目的

#### 「本と出会い・楽しみ・豊かに生きる」

子どもが本と出会い、読書の楽しさにふれながら、ことばの力※や「教養・価値観・感性」等を身に付け、自ら考え、判断し、豊かに生きていくために、あらゆる機会とあらゆる場所において、子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境の整備を推進することを目的とする。

※ことばの力とは…子どもの「学習」や「生活」全ての基盤となるもので、自分の気持ちや考えを伝え合う力や情報を正しく理解し物事を的確に判断できる思考力等を指します。

### 基本方針

- 1 家庭、地域、学校等における子どもの読書活動の推進
- 2 子どもの読書活動推進のための施設、設備その他の諸条件の整備・充実
- 3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

### 1 目標

図書館、学校等で「本を読むきっかけの提供」や「本を読むことの習慣化」に取り組み、平成27年度には、年12冊（1か月に1冊）以上の本を読む子どもの割合を次のとおりにするよう目指す。

目標		目標値 (目標年度： 平成27年度)	前計画の 実績(平成 22年度)	推進状況		
				平成23年度	平成24年度	平成25年度
1か月に1冊 以上読書する 子どもの割合	小学校5年生	93.8%	91.1%	91.2%	91.2%	89.7%
	中学校2年生	87.3%	80.9%	82.4%	84.6%	79.7%

※「基礎・基本」定着状況調査（広島県教育委員会実施）による数値

※「第56回学校読書調査」（平成22年5月実施）の全国平均を目標値とする。

### 【説明】

- 平成23年度から、本目標について、小・中学校校長会や広島市教育研究会等で、資料を基に説明をしており、平成25年度も同じ方法で周知を図ってきた。しかし、小学校5年生では前年度より1.5ポイント減、中学校2年生では前年度より4.9ポイント減少し、いずれも第二次計画策定時の数値を下回った。
- このことから、これまでと同じ方法では、児童生徒を指導する教員の読書に対する意識を涵養するために十分ではないことが推察される。
- 今後は、これまでの方法に加えて、「基礎・基本」定着状況調査の結果に課題が見られる学校に対して、重点的に指導を行うことで、改善を図っていくこととする。

## 2 重点施策

### (1) 図書館等における重点施策

#### ① 重点項目 「発達段階に応じた読書活動のための情報提供の充実」

目 標 (目標年度： 平成27年度)	推 進 状 況		
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
発達段階別図書リストの作成・配付	<ul style="list-style-type: none"> <li>●0～3 歳向けの絵本リストの作成（隔年発行）・配布</li> <li>●小・中学生向けの夏休みの読書におすすめの本を紹介するリストの作成・配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幼児～中学生向けの良書目録の作成・配布（隔年）</li> <li>●0～3 歳向けの絵本リストの配布</li> <li>●小・中学生向けの夏休みの読書におすすめの本を紹介するリストの作成・配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【新規】3・4歳、5・6歳、小学1・2年生、3・4年生、5・6年生向けの図書リストの作成</li> <li>●0～2 歳向けの絵本リストの作成・配布</li> <li>●小・中学生向けの夏休みの読書におすすめの本を紹介するリストの作成・配布</li> <li>●【新規】高校生のための職業に関する図書リストの作成・配布</li> <li>●【新規】高校生のための職業に関するブックトークの実施 (2回 延参加人数44人)</li> </ul>

#### 【説明】

- 平成25年度は、新たに、幼児から小学生向けの発達段階別図書リスト（※1）を作成した。（配布は平成26年4月から開始している。）また、0～2歳向けの絵本リスト（※2）を作成し、各保健センターが実施する「こんにちは赤ちゃん事業（※3）」における家庭訪問時等に配付した。  
さらに、夏休みの読書におすすめの本を小・中学生に紹介したリスト（※4）等を発行して学校等へ配布したほか、新たな取組として、高校生のための職業関連図書リスト（※5）の作成・配布や、高校生を対象にしたブックトークを実施した。
- こうした取組は、家庭での読書活動の大切さへの理解を深める役割を果たすものであり、今後も、発達段階別図書リスト等の保育園・幼稚園・学校を通じての配付等を行い、発達段階に応じた読書活動のための情報提供の充実を図る必要がある。

※1 リスト名：「どの本よもうかな」全5種（3・4歳向け、5・6歳向け、小学1・2年生向け、小学3・4年生向け、小学5・6年生向け）

※2 リスト名：「おひざにだっここのえほん～家族で楽しむ乳幼児向けの絵本～」

※3 こんにちは赤ちゃん事業：生後4か月までの乳児がいる家庭を民生委員・児童委員等が訪問し、子育ての不安や悩みを聞くとともに子育てに関する情報提供を行う事業

※4 リスト名：「よもう!あそぼう!!」

※5 リスト名：「高校生のための職業ハッケン!!コーナー～きみの未来はここにある～」

② 重点項目 「図書館での読み聞かせボランティアのステップアップのための研修会の充実」

目 標 (目標年度： 平成 27 年度)	推 進 状 況		
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
経験者を対象としたステップアップ研修をこども図書館で年に 2 講座開催	●経験者を対象としたステップアップ研修をこども図書館で開催 1 講座 (計 6 回) 延参加人数 264 人	●経験者を対象としたステップアップ研修をこども図書館で開催 1 講座 (計 5 回) 延参加人数 365 人	●経験者を対象としたステップアップ研修をこども図書館で開催 2 講座 (計 7 回) 延参加人数 324 人

【説明】

- 平成 25 年度は、こども図書館において、読み聞かせボランティアの経験者を対象としたステップアップ研修 (2 講座 7 回) を、「子どもの本の紹介文を書いてみよう」、「乳幼児向けのおはなし会ってどんなもの？」のテーマで開催した。
- こうした取組は、読み聞かせボランティアが活動する上で必要となるノウハウを習得する貴重な機会となった。今後とも、研修会の充実を図るなど子どもの読書活動を推進する人材の活動支援を積極的に行っていく必要がある。

③ 重点項目 「各保健センターでの絵本の読み聞かせの実施の充実」

目 標 (目標年度： 平成 27 年度)	推 進 状 況		
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
4 か月児健康相談において毎回絵本の読み聞かせを実施	●4 か月児健康相談において絵本の読み聞かせを実施 220 回 (4 か月児健康相談実施回数年 310 回)	●4 か月児健康相談において毎回絵本の読み聞かせを実施 310 回 (4 か月児健康相談実施回数年 310 回)	●4 か月児健康相談において、毎回絵本の読み聞かせを実施 304 回 (4 か月児健康相談実施回数年 304 回)

【説明】

- 平成 25 年度は前年度と同様に、各保健センターでのすべての 4 か月児健康相談において、絵本の紹介や絵本の読み聞かせを実施した。
- こうした取組により、子どもが絵本や物語にふれる機会を提供するとともに、保護者に対し、読み聞かせ等の大切さや意義について普及啓発の機会の提供につながったことから、今後も引き続き同様の取組を推進し、家庭における読書活動の習慣化を推進していく必要がある。

## (2) 学校における重点施策

### ① 重点項目 「読書活動の全体計画・年間指導計画の見直し」

目 標 (目標年度： 平成 27 年度)	推 進 状 況		
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
全ての小・中・高等学校で毎年見直す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校：新たな計画の作成について指導</li> <li>●中学校：現計画を引き続き活用し、平成 24 年度に新たな計画を作成するよう指導</li> <li>●高等学校：現計画を引き続き活用し、新たな計画の作成に向けた準備を進めるよう指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校 全体計画 95% (135/142 校) 年間指導計画 96% (137/142 校)</li> <li>●中学校 全体計画 89% (57/64 校) 年間指導計画 86% (55/64 校)</li> <li>●高等学校 現計画を引き続き活用し、平成 25 年度に新たな計画を作成するよう指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校 全体計画 93% (132/142 校) 年間指導計画 91% (129 校/142 校)</li> <li>●中学校 全体計画 78% (50/64 校) 年間指導計画 80% (51 校 / 64 校)</li> <li>●高等学校 現計画を引き続き活用し、平成 26 年度に新たな計画を作成するよう指導</li> </ul>

#### 【説明】

- 平成 25 年度においても前年度と同様に、小・中学校校長会や広島市教育研究会等で、読書活動の全体計画・年間指導計画の見直し（作成）についての説明を行った。
- 全体計画の見直し（作成）については、小学校では 93%（対前年度 2 ポイント減）、中学校では 78%（対前年度 11 ポイント減）の学校において実施し、年間指導計画の見直し（作成）については、小学校では 91%（対前年度 5 ポイント減）、中学校では 80%（対前年度 6 ポイント減）の学校において実施した。いずれも、前年度に比べて減少しているが、これは、学習指導要領が改訂されて数年（小学校で 3 年、中学校で 2 年）経過し、改訂時に作成したものをそのまま使用している学校があるためと考えられる。
- また、高等学校では、平成 25 年度においては現計画を引き続き活用しながら、新たな計画の作成に向けた準備を開始した。
- 今後は、計画の見直し（作成）を実施していない学校に対し、教育委員会から指導を行うとともに、実施済の学校についても、学校や児童・生徒の実態に応じた計画となるよう、今後も継続して計画の見直しを行うよう働きかける必要がある。

#### 《読書活動の全体計画・年間指導計画の見直しについて》

平成 20 年 3 月に小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領の改訂が告示され、小学校では平成 23 年度から、中学校では平成 24 年度から新学習指導要領に基づいた教育課程が全面実施となった。この学習指導要領では、生きる力を育むことを目指し、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うことを重視しており、各教科等を通じて言語活動の充実を図ることとし、言語に関する能力の育成に必要な読書活動を充実することが定められている。

また、高等学校では、平成 21 年 3 月告示の学習指導要領が平成 25 年度から年次進行で実施（平成 27 年 4 月から全学年で実施）となっている。

② 重点項目 「小・中学校の学校図書館図書標準冊数の達成」

目 標 (目標年度： 平成27年度)	推 進 状 況		
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
全ての小・中学校で標準冊数を維持する。	図書整備率 ●小学校 110.6% ●中学校 112.2%	図書整備率 ●小学校 112.1% ●中学校 113.4%	図書整備率 ●小学校 113.3% ●中学校 114.6%

【説明】

- 平成25年度においても前年度と同様に、適切な図書の更新を行いつつ図書整備を図った結果、全小・中学校（新設校(小学校2校、中学校1校)を除く）の図書館では、図書標準冊数を達成している。平成25年度図書整備率は、前年度と比較すると小学校・中学校とも1.2ポイント増であった。
- 今後は、新設校の学校図書館図書整備を推進するとともに、引き続き、全学校図書館において、適切な図書の更新を行いつつ、図書標準冊数を維持していく必要がある。

(参考) 広島市立学校図書館の図書整備状況の推移

年度	区 分	標準冊数 A	保有冊数 B	過不足冊数 B-A	整備率 B/A
平成 23 年度	小学校 (142 校)	1,355,320 冊	1,499,531 冊	144,211 冊	110.6%
	中学校 ( 64 校)	753,600 冊	845,745 冊	92,145 冊	112.2%
平成 24 年度	小学校 (142 校)	1,348,040 冊	1,511,815 冊	163,775 冊	112.1%
	中学校 ( 64 校)	755,040 冊	856,237 冊	101,197 冊	113.4%
平成 25 年度	小学校 (142 校)	1,346,320 冊	1,524,970 冊	178,650 冊	113.3%
	中学校 (64 校)	757,840 冊	868,148 冊	110,308 冊	114.6%

※標準冊数は5月1日現在、保有冊数は翌年の3月31日現在

※平成25年度における1校当たり標準冊数は、小学校 9,481冊、中学校 11,841冊

### ③ 重点項目 「小・中学校での学校図書館ボランティアの確保」

目 標 (目標年度： 平成27年度)	推 進 状 況		
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
学校図書館の運営に必要なボランティアの人数を各学校で引き続き確保する。	学校図書館ボランティアの人数 ●小学校 133校 1,979人 ●中学校 53校  416人	学校図書館ボランティアの人数 ●小学校 136校 1,968人 ●中学校 48校  342人	学校図書館ボランティアの人数 ●小学校 133校 1,970人 ●中学校 47校  318人

#### 【説明】

- 平成25年度の学校図書館の運営に携わっているボランティアは、前年度と比較すると小学校が3校減(△2.2%)2人減(△0.1%)、中学校が1校減(△2.1%)24人減(△7.0%)となっており、平成23年度以降減少傾向にある。
- 中学校では、小学校に比べて、読み聞かせをする機会が少ないことや仕事を持つ保護者が多いことなどから、ボランティアを要請することが難しい現状がある。
- これまでも、小・中学校校長会や広島市教育研究会等で、各学校に必要なボランティアの人数を確保するよう働きかけを行っているところであるが、学校図書館の運営を充実させるためには、ボランティアの確保が欠かせないことから、今後も継続して積極的に働きかける必要がある。

### 3 平成25年度における各方策の主な取組状況

#### (1) **基本方針1** 家庭、地域、学校等における子どもの読書活動の推進

- 【新規】こども図書館で、発達段階別（3・4歳、5・6歳）の絵本・幼年童話リスト「どの本よもうかな」を作成することにより、保護者等に対する子どもの発達段階に応じた図書の系統的な情報提供が可能になった。  
[1-(1) 保護者等への学習機会や情報提供の充実]
- 【新規】中央図書館で、保護者向け図書館利用案内チラシを作成し、高等学校新入生の保護者に配布することにより、保護者への情報提供の充実を図った。  
[1-(1) 保護者等への学習機会や情報提供の充実]
- 【新規】こども図書館で、前年度に作成した小学生向け図書館利用案内を初めて小学校1年生に配布し、読書への関心を高める取組を推進した。  
[2-(2) 小・中学校及び高等学校の児童生徒への読書支援]
- 【新規】中央図書館で、高校生向け図書館利用案内チラシを作成し、高等学校1年生に配布することにより、読書への関心を高める取組を推進した。  
[2-(2) 小・中学校及び高等学校の児童生徒への読書支援]
- 【新規】こども図書館で、学齢期別（小学校低学年・中学年・高学年）向け図書リスト「どの本よもうかな」を作成することにより、小学校1年生・3年生・5年生に対する発達段階に応じた図書の系統的な情報提供が可能になった。  
[2-(2) 小・中学校及び高等学校の児童生徒への読書支援]
- 【新規】中央図書館で、高校生向け職業関連図書リスト「高校生のための職業ハッケン!!コーナー～きみの未来はここにある～」を作成し、高等学校に配布することにより、図書を活用して職業や仕事に関する理解を促進した。  
[2-(2) 小・中学校及び高等学校の児童生徒への読書支援]
- 小学校・中学校校長会において、調べ学習コーナーや学校支援図書セットに関する情報提供を行った結果、平成25年度は、前年度より20セット多い52セットの貸出申込があり、小・中学校における調べ学習の支援を推進した。  
[2-(3) 調べ学習の支援]
- 【新規】こども図書館で、「おはなし会ボランティアの手引き」を作成し、図書館ボランティアや学校図書ボランティアに活用を促すことにより、ボランティア登録者の活動を支援した。 [2-(4) 読み聞かせボランティアの研修及び活動支援]

## (2) **基本方針2** 子どもの読書活動推進のための施設、設備その他の諸条件の整備・充実

- 【新規】中央図書館に、「高校生のための職業ハッケン!!コーナー」を設置し、高校生向けの情報提供を行う環境づくりを推進した。  
[1-(1) 良質な図書の収集・提供]
- 公民館図書室では、赤ちゃん絵本コーナーがなかった3公民館について、新たにコーナーを設置し、図書室の充実を図った。また、図書利用が多い2公民館で児童書を更新し、身近な図書館としての環境づくりを推進した。  
[2-(1) 公民館図書室等の図書の充実]
- 【新規】中央図書館で、広島特別支援学校高等部の生徒を対象に、職業に関するブックトークを開催し、障害のある生徒の職業や仕事についての関心の喚起と理解の促進を図った。  
[3-(4) 特別支援学校における選書や環境の充実]
- 【新規】市立高等学校（特別支援学校高等部を含む。）教職員からの希望図書を購入して各学校図書館へ配本（5年間の長期貸出）を行うなど、高等学校との連携を推進した。  
[4-(2) 図書館と学校の連携・協力]

## (3) **基本方針3** 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

- 【新規】広報紙「ひろしま市民と市政」（平成25年四季号冬）に特集「こども図書館 絵本 すきすきだいすき」を掲載し、また、広島市PTA協議会が発行する広報紙「市P協ひろしま」（平成25年7月12日号）に企画展や図書リストの情報を掲載し、読書活動に関する理解と関心を深める取組を推進した。  
[1-(1)教育ひろしま、ホームページ等による啓発・広報等の推進]